

平成25年度第1回苫小牧市男女平等参画審議会会議録（概要）

- 1 日時 平成25年4月25日(木) 午後1時30分～午後2時35分
- 2 会場 苫小牧市女性センター4階 講習室A
- 3 出席者 苫小牧市男女平等参画審議会委員9名出席 1名欠席
事務局：市民生活部長、男女平等参画課長、主査、嘱託員
- 4 会議次第
 - ①委嘱状交付 ②副市長挨拶 ③委員・職員紹介 ④会長・副会長選出
 - ⑤会長・副会長挨拶 ⑥諮問書交付 ⑦議事 ⑧その他
- 5 議事概要

（1）苫小牧市男女平等参画都市宣言について

資料に基づき事務局から説明。

主な意見

苫小牧市男女平等参画都市宣言文について

○苫小牧市の市民憲章やスポーツ宣言都市も「わたしたち…」というスタイルで始まりますので、「わたしたち苫小牧市民は」というスタイルで始まる例2の方が良いと思います。

○基本的には「わたしたち苫小牧市民は」という言葉で始まって良いのですが、苫小牧の街をひとことふたことで表現できる文言があった方が良く思う。

○理念のところに、苫小牧の私たちが住んでいる状況や自然の中でどういう恩恵を受けて生きているか表したい。こういう苫小牧に住んで居ますということを謳っていただけたらと思います。

○苫小牧の特徴として、港、水、緑がある住みやすい土地を何か一言入れたいと思います。スタイルとしては例2の形が良い。

○私は例1が良い。例2は宣言というより計画の色が強く見えるのでちょっと固い。例1が良いと思ったのは、これからの時代にもっと男女平等というものを落とし込んでいくことを考えた時に、最初の文節から、「喜びも責任も分かち合う」というところまで、すごく若い人に受け入れられそう。「男女平等参画～」のところに、「苫小牧に新たな光をともし 次代につなぐため わたしたち市民はここに男女平等参画都市を宣言します」というふうに、「苫小牧市民」をちりばめると、良い憲章になってくるのではないかと思います。カッコを入れるとわかりづらくなるのでカッコを外した方がよいと思います。

○全国を見ても言いたいことが先にくるか後にくるかという形なので、私は例2の方が良いかなと思います。

○形式というのは内容に伴って決まるところがあると思いますが、例2の方が間違いなくその情報の色を織り込みやすいのでその方がすっきりする。例1は、もっと言いたいことを簡潔に言った時にビシッと決まる形になるのかなと例を見て思いました。出雲市はとてもきれいな例1かなと思いました。簡潔に表現すると非常にきれいな形になる。あとは読み上げやすいか。何かの集まりの時などにちょっと思いました。それから自然を盛り込むというのは賛成です。市民憲章が良い例だと思います。

○私も例2が見やすいと思っています。3つ目の”1”のところに、「男女平等を醸成する教育をめざします」という教育というか、いわゆる「次代を担う子どもたち」という子どもたちという言葉が入って欲しいなと思います。例1の方には「次代につなぐため」と若い人や子どもたちという意味で取れるのですが、次の時代、子どもたちという言葉が入って欲しいなと思いました。

○「未来のために」というところでは、「この街の子どもたちのために…」とか、前文を作れたらいいかなって思っています。

○教育とか職場とか漢字で直接盛り込まないほうが良いと思います。男女平等参画都市宣言というのは市民に押し付けるものではなく、そういう気持ちを持って、男女の性別世代、いろいろな心のバリアフリーを実現させるための第一歩と思っています。あまり職場とか教育の分野を織り込んでしまうと受け取る側が限定されてしまう。

○大事なところは前文では柔らかくしなやかに、そして抑えるところはビシッと、ここですよというブレないものを私は入れていきたいと思います。

○前文はあまりあれもこれも入れてしまうと、だらだら長くなってボケてしまう。ほどほどのところで…。

など、意見をいただきました。

(3) その他：次回の審議会の開催日時について

○次回は、5月20日（月）午後5時30分に決定。